令和8年度地域啓発研修会　権利擁護講演会「寄り添う支援…本当に寄り添うって？」アンケート集計結果

R8.10.8

講演会参加者数	アンケート回収数	回収率
68	44	65%

1、あなたの職種を教えてください

職種	自治体	社会福祉協議会	福祉職（高齢）	福祉職（障がい）	医療職	法律職	ケアマネ	民生委員	一般住民	その他	計
人数	9	3	2	13	0	1	3	1	11	1	44
割合%	20	7	5	30	0	2	7	2	25	2	100

2、この講演会の開催を何でお知りになりましたか（複数回答あり）

媒体	チラシ	友人・知人	ホームページ新聞等	職場・関係機関	その他	計
件数	13	0	4	24	3	44
割合%	30	0	9	55	7	100

3、第1部北信地域障がい福祉自立支援協議会権利擁護部会による寸劇についてご意見ご感想をご記入ください

・親としての気持ちもわかり、でもこれからを考えて相談するところがあるというのは助かります。歌はわかりやすくてよかったです。

・とてもわかりやすかった　6
・少し短く感じましたが楽しかったです。
・早過ぎたとのことであったが丁度よかった。
・誰がどのような役割なのか明確でイメージがしやすかった
・難しいことをわかりやすくしてくださった寸劇でありがたい。
・もっと見たかったです　2
・相談員の方が市役所のどんな課だったのか？皆さま多忙なところありがとうございます。
・相談支援の流れや権利擁護の流れが理解しました。
・すばらしい
・導入としてわかりやすくとても良かったと思います。
・楽しい劇でした。歌詞が聞き取りづらく残念でした。また聞きたい。
・とてもわかりやすく伝わってきました。楽しい寸劇でした。どのようにチームでサポートして行くことが大切か伝わりました。
・わかりやすい内容でした。少ない人数の中で色々お疲れさまでした。
・センスがちょっと古いかな？
・歌など工夫をこらされていました。
・楽しそうな表情が良かった。
・シンプルでわかりやすかった
・相談窓口につながる大切さがわかった。
・福岡先生の話が印象的で飛んでしまった。
・ナレーションの方、とても楽しかったです。
・内容はともかく寸劇の運びは慣れていてけっこううまいと思った。
・楽しく話を聞くことができました。本当の寄り添い、考えるきっかけになりました。ありがとうございました。

・ご家族の正義感のような関りが当事者（特に学校卒業のタイミング）にとっての課題になってしまう。あるあるな事例で2部の講演へもうまくつながっていると思いました。いつまでも親がいるわけではないことを相談員や行政が客観視して将来を見込んだサービス展開が各ケースでなされるといいなと思いました。

・伴走型支援という言葉を初めて聞きました。障害者施設で働き始めたばかりの者です。トリセツっていう言葉も胸に残りました。障がいの方の一人一人のトリセツをしっかり考えていき周りの人たちで支えていく。トリセツって大事です。トリセツがあるから大勢で支えられると思いました。

・伴走型支援の寸劇、とてもわかりやすく楽しかったです。お疲れ様でした。
・全体の導入として雰囲気もよくわかりやすくてよかったです。歌も！

・権利擁護の啓発ソングも含めた寸劇、シンプルでありましたが伝わりやすかったと思います。

４、第2部　講演会について、ご意見・ご感想をご記入ください

・以前に福岡さんの講演を聞いたことがあり今回参加させていただきました。保育園、小学校、放課後デイで仕事をしたことがあるので「そう、そう」と聞いていました。

・心と体が合っていないことが弱っている人には伝わるということが気づきでした。「支援、寄り添わないと」と思うことがそもそもおこがましいのだと思いました。

・仕事にも家庭にも共通する内容でした。自分の子供と向かい合いたいと思いました。

・本人が活躍できる場、寄り添いはコントロールすることではない。心と体がひとつ→姉を長野・愛和病院で看取ったが反省している。

・子どもへの支援を視点にお話をお聞きし、わかりやすかった

・伴走型支援とは何か、今の時代に沿った視点での支援について学ぶことができた

・社会性を本人にわからせる…納得しました。心と体が一緒…出来ない？

・子どものケースから大人のケースまでわかりやすかったです。例えもすっと入りました。

・久々に聞かせていただきました。耳が痛かったけど、気付けることがたくさんありました。

・障害者支援における伴走を再確認しました。障害児支援の際に障害児は健常の子供より早い段階から社会勉強か社会を知ることが必要と考えていました。しかし「社会」の内容を自分に落とし込むことができませんでしたが、今日の講演会で「社会」を知ってもらう支援が理解できました。（社会＝自分のコントロールを心得て社会との付き合い方を学ぶ）という理解です。

・とてもよかった。福岡さんですね。老けたなあ。

・実体験を交えたお話でぜひ支援に役立てたいと思いました。

・久しぶりの福岡さんの講演。改めて感じたことがたくさんありました。支援者としてのスタンスもう一度考えたいです。

・現代人はいつも心と体が分裂している状態という言葉がしみました。

・いろいろな例を出していただきわかりやすく勇気をもらいました。

・本人の気持ちが切り替わっていないから癇癪になってしまうのが、なるほどと思いました。

・何か役立つ人生を送りたいなあと思いました。

・福岡節満載な講演会、スライドが動いていなかったですが、それ以上になるほど！うんうん！と納得できるお話がきけてとても良かったです。寄り添うって深いです。

・心身ともにそこにある　　大事。

・笑いありでわかりやすく楽しかったです。

・パワーポイント通りに進まない福岡さんのお話は大変なつかしく嬉しかったです。

・寄り添いについて考えさせられた。仕事柄いろいろな人と会う機会があるため今日学んだことが活かされるように取り組もうと思った。

・現場の人の話は伝わります。孫と本気で遊べ、過ごす姿がうらやましいですね。

・昔、保育現場にいた際福岡さんの書籍で沢山勉強させていただき、今の自分があります。

・子どもが障がい児なのでとても言葉が刺さりました。心と体が分裂しない時、瞬間を考えてみたいと思いました。

・寄り添うことの意味にはいろいろな種類があったり深いものであることを改めて感じた。生きていくうえで「寄り添う」ことは課題の一つになると思う。

・支援者として聞くと笑いもあって良いと思いますが、保護者として聞くと少し嫌な気になることが時々あります。私は両者として何度か先生のお話を聞いてきましたし、それによって仕事のコツも覚えてきました。ただ、保護者としては少し辛かった表現もありました。作戦会議、散々してきました。おかげで立派な大人になりました。本人の力を信じ続けました。母が思うよりずっとしっかり育ちました。人の気持ちも充分にわかってくれます。ありがとうございました。自己選択、自己決定だけは守ってきました。久しぶりに福岡さんを拝見し相変わらずお元気でよかったです。これからもご自愛なさってくださいね。

・福岡さんお元気そうで安心しました。

・楽しくお話が聞けました。ありがとうございました。

・「心と体」が一緒になること、改めて気づかされました。また「コントロール」「型にはめてしまう」日々の生活で反省すべき点で

・小さい頃から社会性を身につけるための体験を積み重ねていくことが大事だけど、そうしてもらえる寄り添い方をとぎれなくつなげていくことの難しさを改めて感じました。

・福岡先生にお会いしたくて来ました。あいかわらずパワフルなお話でなつかしかったです。ありがとうございました。

・眠たくもある時もあったが人に共感を与えるしゃべりで好感が持てた。

・いろいろな事例を交えて楽しく聞かせてもらえました。

- 講師もおっしゃっていた児童期の段階で支援者の「良かれ」が、成人期で当事者を苦しめることになることはよくある話だと思いました。当事者の考えを置いておいてパターナリズムになることで。マンツーマンという寄り添いが結果マンツーツーになってしまったという話は響きました。本人の考えを放っておいてしまうと、良い結果が生まれないというのは、今も同じと思った。

- 事例を基にお話ししてくださるのでとてもわかりやすく心に刺さるお話でした。本当におもしろくてためになりました。心と体がここにある、との言葉がはっとさせられました。職場に行ったときに早速実践します。元気をもらいました。
- 初めから最後まで話はおもしろく、しかし内容も素晴らしくあっという間の１時間半でした。本当の伴走とは？寄り添いとは？を改めて整理できました。今後の仕事で実践していこうと思います。ありがとうございました。
- 後半のまとめのあたりでは人間性を問われるような考えさせられる内容でした。日々の支援のあり方…難しいです。「心と体がそこにいる」
- 寄り添いとは→考えることができました。勉強になりました。
- 一番最後におっしゃっていた「寄り添い」心と体が一緒であること…自分に置き換えて家庭の中でもこれまで支援者としてやってきた自分を振り返らせていただくきっかけとなりました。楽しいお話を聞けて大変ありがとうございました。

５、今後参加したい研修の内容やご要望等ございましたらお聞かせください。

- ありがとうございました。
- 成年後見制度について詳しく学ぶ機会があるとうれしいです。
- 新しい後見制度
- 大人の処方（暮らし方、周囲のかかわりのhow to?）
- 知的障害のある方の研修を受けたい
- 体験をされた保護者の方の話。
- 私自身が障害者になりました。障害者の話を聞いてみたいです。受けられるサービスやできること、明るい未来。
- 身の回りや生活の中で当事者が困ったことはどこに相談すればいいのか？相談したことはどこで誰が考えて解決に向けて進めてくださるのか。この地域のしくみと現状などを知りたい。
- また福岡さんの講演会ぜひお聞きしたいです。開催よろしくお願いします。